

平成28年度学校だより



輝け、大越っ子

《かしこく・やさしく・たくましく》

発行日 平成28年6月10日

福島県田村市立大越小学校

第4号

発行責任者 校長 根内 喜代重

思い出いっぱい修学旅行！

5月26日（木）～27日（金）の2日間、本校6年生32名が会津若松市内へ修学旅行に行ってきました。会津の地は、白虎隊や野口英世など日本はもちろん世界に知れ渡る福島県を代表する歴史あるところです。出発式では、「たくさん学んできましょう。たくさん楽しんできましょう。そして、思い出に残るすばらしい修学旅行にしましょう。」と話しました。

1日目は、野口英世記念館にて、生家の見学とともに、英世の生涯や功績を学びました。英世が今から約100年前（1915年）に一時帰国したときに残した次のような言葉が目に留まりました。

『Honesty is best policy.』（正直は、最良の方法である。）

『La patience est amere, wais son est doux.』

（忍耐は苦い、しかし、その実は甘い。）

大越っ子たちも、世界的な偉人にふれながら、改めて誠実であることや志をもって努力することの大切さを確認することができたと思います。

午後は、会津藩校日新館の見学と起き上がり小法師の絵付け体験を行い、宿泊地である会津自然の家に向かいました。

2日目は、まちなか周遊バス「あかべえ」「ハイカラさん」



（鶴ヶ城が燃えていると思って、ここで自刃したんだね！）

「廃品回収」、大変お世話になりました！

6月4日（土）、PTA事業として廃品回収を実施しました。保護者や地域の皆様のご協力のもと、たくさんの資源ごみを回収することができました。収益につきましては、皆様の思いや願いを大切にしながら、子どもたちの教育活動に有意義に活用してまいります。お忙しい中、本当にありがとうございました。方部委員の皆様には、地区の取りまとめや運搬など大変お世話になりましたことに重ねて御礼を申し上げます。

なお、2回目の廃品回収を9月3日（土）に予定していますのでご協力をよろしくお願いいたします。



大越っ子たちの初泳ぎ！

6月1日（水）、全校生が体育館に集まり、「プール開き」を行いました。気温の低い日が続いていましたが、ちょうど1週間後の6月8日（水）、子どもたちが楽しみにしていた初泳ぎの日を迎えました。4～6年生が歓声を上げながら、泳ぎを楽しみました。これから水に親しみながら、泳力をどんどん伸ばすことができるよう指導していきたいと思います。



1年ぶりのプール、楽しいね！

なお、プール開きでの「校長先生の話」の概要をお知らせします。

まずは、5、6年の皆さんにお話を言いたいと思います。今日、こうして全校生でプール開きができるのも、5、6年の皆さんのが先生方と一緒に一生懸命に清掃してくれたからです。ありがとうございました。感謝しながらプールに入りましょう。それでは3つのことをお話しします。

1つ目は、水と仲良くなってください。水に浮いたり、もぐったり、水の中を歩いたり、走ってみたりするのはおもしろいですね。すいすい泳げると気持ちがいいですね。早く水と仲良くなれるように、たくさん水遊びや水泳をやってください。

2つ目は、田村市の水泳大会で自分の力を発揮できるように、一生懸命練習してください。今年から、水泳大会は、大越小けでなく、滝根・常葉・都路の7つの小学校が集まり、つづじヶ丘運動公園にあるプールで行います。4～6年生が参加できますので、ぜひ頑張ってほしいと思います。

3つ目は、ルールを守ってプールを利用してください。ルールを守ることは、命を守ることです。水は生きるために絶対必要なもので、水遊びなどは楽しいのですが、ルールを守らないと命を落とすことにもなりかねません。人の命は地球よりも重く、命以上に大切なものはありません。先生の話をよく聞いて、必ずルールを守るようにしてください。

水泳学習は、夏の限られた期間しかできませんので、たくさん楽しんで、泳ぐ力をしっかりとつけてください。



大切な命、みんなで守る、自分で守る！

5月30日（月）、防犯教室を行いました。目標・内容は、2つです。1つは、万一、校内へ不審者が侵入してきた場合の冷静かつ迅速な対応と適切な避難方法を確認することです。大越駐在所の吉田巡査長に不審者役としてご協力いただき、教職員の対峙方法や通報、児童の避難方法等についてご指導いただきました。2つ目は、路上での声かけ等に対する適切な対応方法を身につけることです。田村警察署小野分庁舎生活安全課の松本さんから、「つみきおに」（ついていかない、みんないっしょに、きちんと知らせる、大声で叫ぶ、にげる・大人のいる所へ）や危ないところ（川、池、沼、道路、空家、野生動物など）へは近づかない、遊ばないというお話をいただきました。ご家庭でも、近隣の潜在危険箇所などを話題にしながら、安全について子どもたちと話し合ってみてください。